介護部会相模原ブロック会議報告書

実施日　　　　　平成28年12月7日(水)　　14：00～16：00

会議実施会場　　介護老人保健施設　のどか

参加人数　　　　8施設　　　11名　　参加

議事項目　　　　①『定時排泄ケアについて』

　　　　　　　　　　～工夫や改善したことの情報交換～

　　　　　　　　　②フリートーク・伝達事項

　　　　　　　　③施設見学

内容

　　　　『定時排泄ケアについて』　各施設からの報告

Ａ施設　業者の方に来てもらい年一回パットのあて方の勉強会を実施している。

　　　　特殊な方は業者の方と共に実習する。カートを使用。カート内に必要な物を

　　　　セットし、陰洗用のお湯をポットに用意しておく。オムツ交換や陰洗の仕方を

　　　　説明する為に、ズボンに籾殻を入れた人形や男性用の人形を使用している。1人

　　　　1人のパット内の尿量を測定し使用パットと時間の見直しを行って見守りがしやすくなった。

Ｂ施設　ユニ・チャームの2種類のパット使用。勉強会を行っているが、パットの吸集量

　　　　よりあて方により失禁になるケースが多い。カート使用と居室のタンスの中にオムツパット類を保管。交換時は居室にカートを入れないで清潔・不潔を分けバケツに入れる。

Ｃ施設　光洋のオムツパットを使用。勉強会を行い、アドバイザーに来てもらいパットのあて方をDVDに撮り、各フロアに配り職員に見てもらうが、技術的なところまでは伝わりづらい。職員１人１人の意識改善が必要。夜間は尿量の多い方は、定時を一回増やしている。

Ｄ施設　パットは４種類。カート使用で排泄時間のみ出す。居室、カーテンを閉めてから

　　　　使い捨てエプロンと手袋を装着し交換。汚れた物はビニールに入れその都度捨て

　　　　る。下拭きは、震災時の事を考え個包装の厚めの紙のおしぼりを使用、その都度捨てる。業者による勉強会を行い、新人にはマンツーマンで指導する。

Ｅ施設　ユニ・チャームのオムツ３種類、リハビリパンツ３種類、パット５種類を使用し、

　　　　アドバイザーによる勉強会を実施している。排泄時はオムツ、パット類が入った

　　　　カゴを使用、清潔と不潔を分けている。布のエプロンと手袋を使用汚れた物をビニールに入れその都度捨てる。下拭きは布の物をお湯で濡らし使用している。

　　　　１人１人の尿量を測定し、使用パットと時間を決め排泄記録表に記入している

　　　　入浴の無い時は一日一回陰洗を行う。オムツやリハビリパンツの種類やサイズの

　　　　見直しを行ったが、特殊な方や太っている方のサイズとあて方が難しい事がある。

Ｆ施設　オムツ3種類、リハビリパンツ３種類、パット６種類を使用。定時交換ではなく、

　　　　１人１人に合わせたパットを使用、交換時間を決めている。排泄記録表をカラーで交換時間とパット記入され行い、各階で使用するオムツ・パットを注文し、ムダ使いを無くしている。テニス用のカートを使用、下拭きは食事使用後の厚めの

　　　　紙の使い捨ておしぼりをハイター消毒し再利用して使用後捨てる。エプロン（リスポン）は使用後捨てる。

Ｇ施設　白十字のオムツ３種類、リハビリパンツ３種類、パット６種類使用。入所時、尿量測定、月１回使用パットの見直しのミニカンファレンスを行う。年にⅠ～２回

　　　　勉強会を行っている。カートは大きいものでフロアに２カ所あり、各居室入口に消毒用アルコールを設置してある。エプロンは布を使用、入浴できない人は１日１回陰洗する。夜間は２人の職員でパット交換を入れ替えて行い、正しくあてられているかお互いに確認し失禁を無くせる様にしている。

H施設　光洋のオムツパット(パット４種類)使用。失禁はあて方に問題があり、職員の意識の違いで起こることが多い。オムツのサイズは動いたり、座ったり、寝たりでオムツについている印を目安に選んでいる。オムツ類は各居室に置いている。下拭きは震災時でも使用できるレスポを使用している。

伝達事項

・２９年度相模原ブロック会議の予定

　　　　ブロック表：いずみ

・次回相模原ブロック会議の予定

　　　　　　　　　　6月　田名老健光生